

令和5年度

妙典小学校 学校運営協議会だより

No.5 令和6年2月号

学校教育目標

主体性を育てる
～自主・自律・共生

目指す子ども像

させられないで
する子ども

2月16日(金)、令和5年度第5回学校運営協議会を開催しました。今回は、後期保護者アンケートの結果を受け、「成果と課題」や「学校関係者評価」などについて協議していただきました。また、令和6年度学校運営方針や地域行事等についても共通理解しました。

【第5回学校運営協議会概要】

○日 時 令和6年2月16日(金) 18時00分～19時20分

○場 所 妙典小学校 ランチルーム

○参加者 1名欠席

○次 第 1 協 議

(1)後期保護者アンケートの結果等について

(2)令和5年度成果と課題について

(3)学校関係者評価について

2 報告及び意見交換

(1)令和6年度年間行事予定について

(2)地域の行事予定について

(3)その他

1 協議

(1)後期保護者アンケートの結果等について <別紙参照>

- ・後期保護者アンケート結果
- ・保護者アンケート3年間の推移
- ・後期児童アンケート結果

(2)令和5年度成果と課題について <別紙参照>

(3)学校関係者評価について

- ・評価、提出の仕方

■委員からの質問やご意見

- ・不登校が全国的にも増加しているが妙典小の状況(増加傾向、原因、対応など)を知りたい。
- ・放課後の過ごし方や社会体育への参加状況を知りたい。塾通いの子が多いことが予想されるが、実際はどうか。
- ・学習支援やプレスタ、のり漉き体験などで、学校と地域と連携が着実に進んできている。
- ・のり漉きは市川の子にとって貴重な体験。大事にしていきたい。
- ・大学で教えていて、学生の読む力(読解力)が低下しているのを実感する。妙典小の実態はどうか。
- ・書く力、聞く力、考える力、創造する力などを育てていきたい。
- ・ICTのC:コミュニケーションを大事にしていきたい。
- ・HX:ヒューマントランスフォーメーション(人間変革)の視点を大事にしたい。
- ・来年度設置が予定されている情緒学級の特徴について知りたい。
- ・ミシンや昔遊びなど、学習活動の支援として「あったかサポーター」の活用が進んだ。
- ・保護者や地域の方々とふれあう中で、大人に褒めてもらえる経験を増やしていきたい。
- ・タブレットの活用の仕方(メディア・リテラシー)、デジタル文書の読み方などを指導してほしい。特にデジタルの良さは情報共有の容易さにあるので、有用性を子どもたちの実感させてほしい。
- ・自由記述で、先生方の言葉遣いへの指摘があるが、あまり気にしすぎると先生が委縮して何も言えなくなるのではないかと。
- ・夏休みなど、いろいろな課題やコンクールに取り組んだ子が大勢いるので、学級でぜひ紹介してあげてほしい。
- ・高学年での教科担任制は、学習面でも生徒指導面でも効果が高く、とても良いと思う。これからも続けてほしい。
- ・言語活動や読書活動の充実はとても大切だと思う。今後も引き続き、充実させてほしい。
- ・今の学校は、昔と比較して多様で複雑な教育課題(人権、LGBT, AI 等)を多く抱えていて大変。先生の仕事も増えている。学校と地域が連携していくことが、子どもの育ちにとって、ますます重要になってくる。

2 報告及び意見交換

(1)令和6年度年間行事予定について

- ・はあとふるコンサートでの6年生の発表は、特に素晴らしかった。全学年の発表を保護者に聞いてもらえるとよいと思う。

(2)地域の行事予定について

- ・地域でのり漉き体験を実施(3月9日)
- ・「妙典中ブロックコミュニティカレンダー」

(3)その他

- ・大谷翔平グローブの紹介と活用について
- ・令和6年度学校運営協議会開催予定
- ・卒業証書授与式について